

## 伊丹市、公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団が 野生生物保護功労者として表彰されました！

### ・内容

令和 6 年 5 月 12 日、東京虎ノ門ヒルズフォーラムで開催された第 78 回野鳥週間 全国野鳥保護のつどい(主催:環境省 公益財団法人日本野鳥保護連盟)にて、伊丹市、公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団が令和 6 年度 野生生物保護功労者として表彰(公益財法人 日本鳥類保護連盟会長賞)されました。

### ・全国野鳥保護のつどいと野生生物保護功労者表彰について

全国野鳥保護のつどいは愛鳥週間(野鳥を含む自然環境に関する知識の普及・啓発のために設けられた期間、毎年 5 月 10 日から 16 日までの 1 週間)の中心的行事として開催されます。このつどいにおいて野生生物保護に関し特に顕著な功績のあった個人、学校及び団体に対しその功績をたたえるため野生生物保護功労者として表彰されるものです。

### ・表彰の理由

- 1) 伊丹市昆虫館においてオガサワラハンミョウをはじめとする国内希少野生動植物種の域外保全活動に取り組み、累代飼育に成功した。
- 2) オガサワラハンミョウの飼育を通算 13 年にわたって継続する他、平成 27 年から 29 年には飼育個体の一部の野生復帰を行い、産卵や次世代が確認されており、環境省が小笠原に設置した施設以外で飼育に取り組む唯一の施設として生息域外個体群の確立・維持へ貢献している。
- 3) 絶滅危惧昆虫の現状や保全の取り組みについて様々な形で幅広く普及啓発活動を続ける他、有識者会議への参加を通じた情報提供など、行政機関の取り組む保護増殖事業に協力している。



# P R E S S R E L E A S E

絶滅危惧種の生息域外保全：絶滅の危険性が極めて高い種や個体群を保全するための手法は2つあります。1つは絶滅危惧種や個体群の生息地（域内）で実施される生息域内保全、もう1つが生息地の外、施設等で飼育・繁殖を試みる生息域外保全です。生息域内保全を行なっても個体数の減少がとまらず、絶滅寸前までの状態になった種や個体群に対して実施されます。

- 伊丹市昆虫館が生息域外保全に取り組んでいる国内希少野生動物種
  - ・オガサワラハンミョウ 絶滅危惧 IA 類  
小笠原諸島の固有種で現在は兄島のみで生息しています。
  - ・フチトリゲンゴロウ 絶滅危惧 IA 類  
国内ではトカラ列島以南の南西諸島に分布する大型のゲンゴロウです。
  - ・フサヒゲルリカミキリ 絶滅危惧 IA 類  
現在岡山県の一部地域のみ生息が確認される草原に生息する日本固有種です。
  - ・マルバネクワガタ類 絶滅危惧 IA 類、IB 類、II 類  
南西諸島に分布し、スタジイが優占する原生的な森林に生息する大型のクワガタです
  - ・ウスイロヒョウモンモドキ 絶滅危惧 IA 類  
中国地方における山地帯の草原に分布するチョウです。



オガサワラハンミョウ



フチトリゲンゴロウ



フサヒゲルリカミキリ



ヨナグニマルバネクワガタ



ウスイロヒョウモンモドキ



伊丹市昆虫館映像  
絶滅危惧種の生息域外保全

- 生態展示：5月21日現在 生きているオガサワラハンミョウ、フチトリゲンゴロウ、タガメ、ゲンゴロウがご覧いただけます。
- プチ展示：「タガメとゲンゴロウが危ない」を開催中（～令和6年7月15日）です。  
〒664-0015 伊丹市昆陽池 3-1 昆陽池公園内  
TEL 072-785-3582 FAX 072-785-2306 MAIL itakon@itakon.com  
【開館時間】 平日 9時30分～16時30分  
（入館受付は16:00まで／チョウ温室は10:00から）  
【休館日】毎週火曜日（火曜が祝日の場合は翌日休）、年末年始、その他臨時休館することがあります。

伊丹市昆虫館 指定管理者：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団

伊丹市昆虫館 担当：坂本昇、野本康太、田中良尚